

WindowsPCの基本的な操作

本日のメニュー

- キーボードですべての操作を行ってみよう
- アクセシビリティの紹介
- 入力支援装置の紹介

WindowsPCの基本的な操作

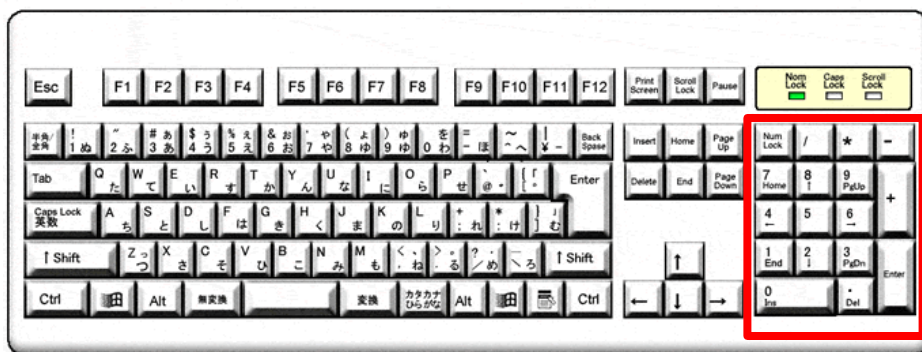
本日のメニュー

- キーボードですべての操作を行ってみよう
- アクセシビリティの紹介
- 入力支援装置の紹介

ショートカットキーを活用してみよう

- その前に。。。

キーボードを確認してみましょう！



デスクトップ型

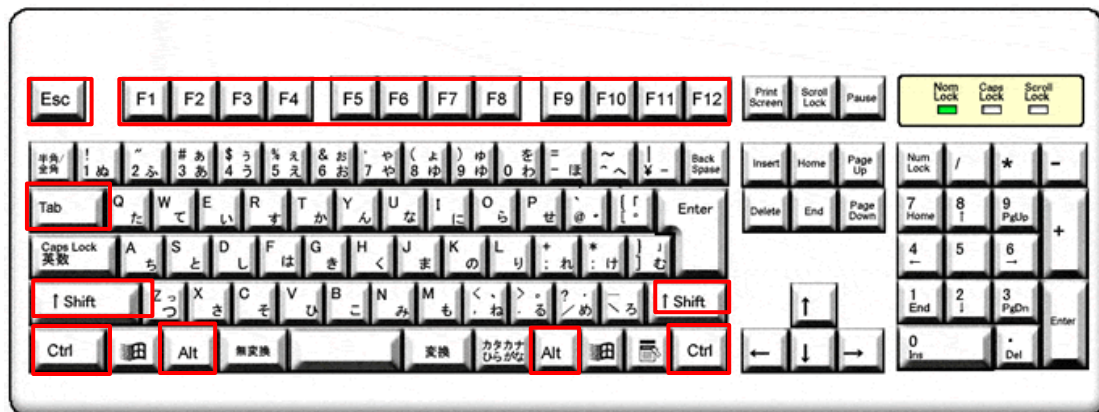


ノートパソコン型

大きな違いとして
テンキーがあるかないか

ショートカットキーを活用してみよう

- キーボードにあるボタンの名称を覚えましょう



- ・ ・ ・ コントロールキー【Ctrl】
- ・ ・ ・ アルトキー【Alt】
- ・ ・ ・ シフトキー【Shift】
- ・ ・ ・ タブキー【Tab】
- ・ ・ ・ エスケープキー【Esc】
- ・ ・ ・ Windowsキー
- ・ ・ ・ ファンクション●●●【F●●●】



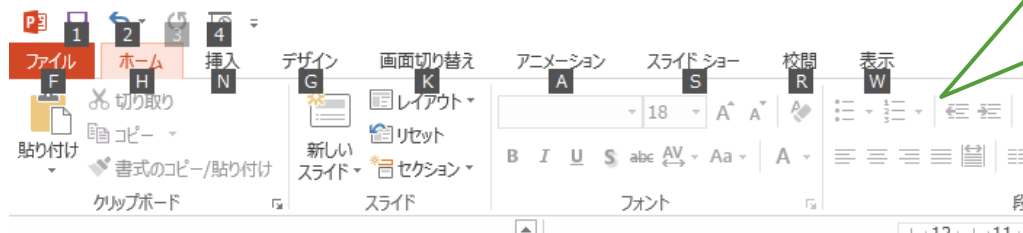
ショートカットキーを活用してみよう

- 現在使用しているウィンドウを閉じる
 - ・・・【Alt+F4】
- 開いているウィンドウを切り替える
 - ・・・【Alt+Tab】
- デスクトップを表示する
 - ・・・【Windows+D】
- 現在使用しているウィンドウを最大化／縮小化する
 - ・・・【Windows+↑／↓】
- 「コンピューターの簡単操作センター」を開く
 - ・・・【Windows+U】

F10を活用してみよう

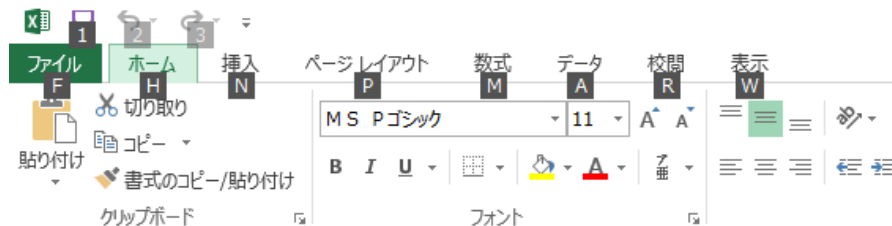
● F10を押す

PowerPoint

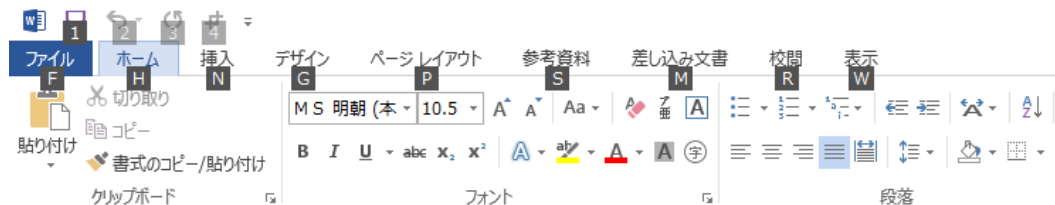


それぞれのアプリケーションにおいて、アルファベットに対応したツールを利用することができる。

Excel



Word



Microsoft Officeの活用例

● Power Point

- ・ ・ ・ Yes／Noスイッチ
- ・ ・ ・ クイズ
- ・ ・ ・ 計算問題

プレゼンテーションの機能を活かして、
スイッチで遊べる工夫ができる！

● ハイパーリンクの活用

- ・ ・ ・ 色遊び
- ・ ・ ・ いきもの
- ・ ・ ・ 計算問題

● アニメーションの活用

- ・ ・ ・ アンパンマン
- ・ ・ ・ かみしばい

● スライドショーオプションの活用



WindowsPCの基本的な操作

本日のメニュー

- キーボードですべての操作を行ってみよう
- アクセシビリティの紹介
- 入力支援装置の紹介

アクセシビリティって何？

アクセシビリティとは、さまざまな製品や建物やサービスへの、アクセスしやすさ、接近可能性などの度合いを示す言葉です。



障害のある方が使いやすくするために、操作を簡単にしたり、見やすくしたり、より簡便に利用できるシステム

= ユーザーサポート

どうやって利用するの？

まずは、

「コンピューターの簡単操作センター」を開いてみましょう！！

・・・【Windows+U】を押す！

ちゃんとした場所も理解しましょう。。

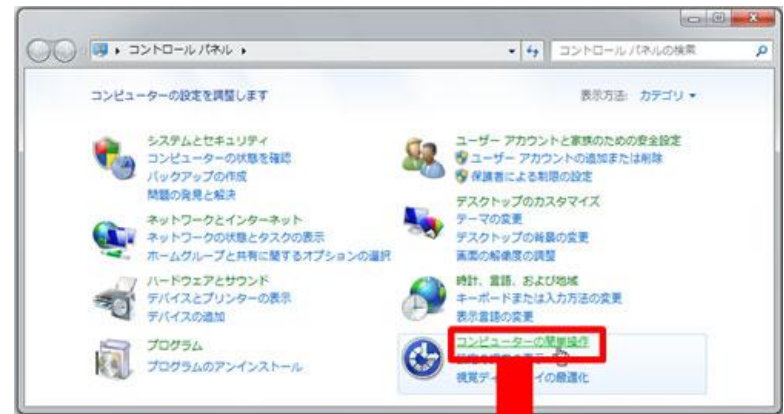
「コントロールパネル」



「コンピューターの簡単操作」



「コンピューターの簡単操作センター」



フィルターキー機能

①

「キーボードを使いやすくします」
をクリック

②

「フィルターキー機能を有効にします」
にチェックを入れます。

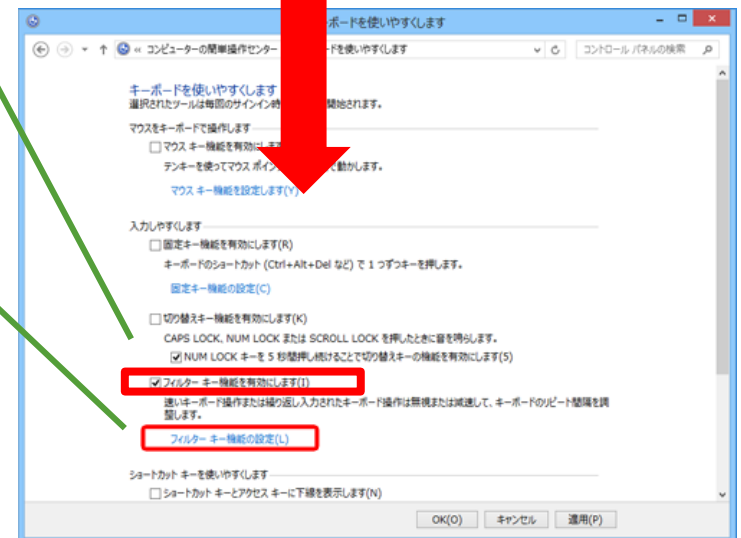
③

「フィルターキー機能のセットアップ」
で詳細を設定します

すべての設定を探索します

選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。

-  コンピューターを画面なしで使用します
全盲の人向けに最適化します
-  コンピューターを見やすくします
ディスプレイを最適化します
-  マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します
代替の入力デバイスをセットアップします
-  マウスを使いやすくします
マウスまたはその他のポインティング デバイスの設定を調整します
-  **キーボードを使いやすくします**
キーボードの設定を調整します
-  サウンドのオプションにテキストまたは画像を使用します
サウンドのオプションをセットアップします
-  コンピューターでの作業に集中しやすくします



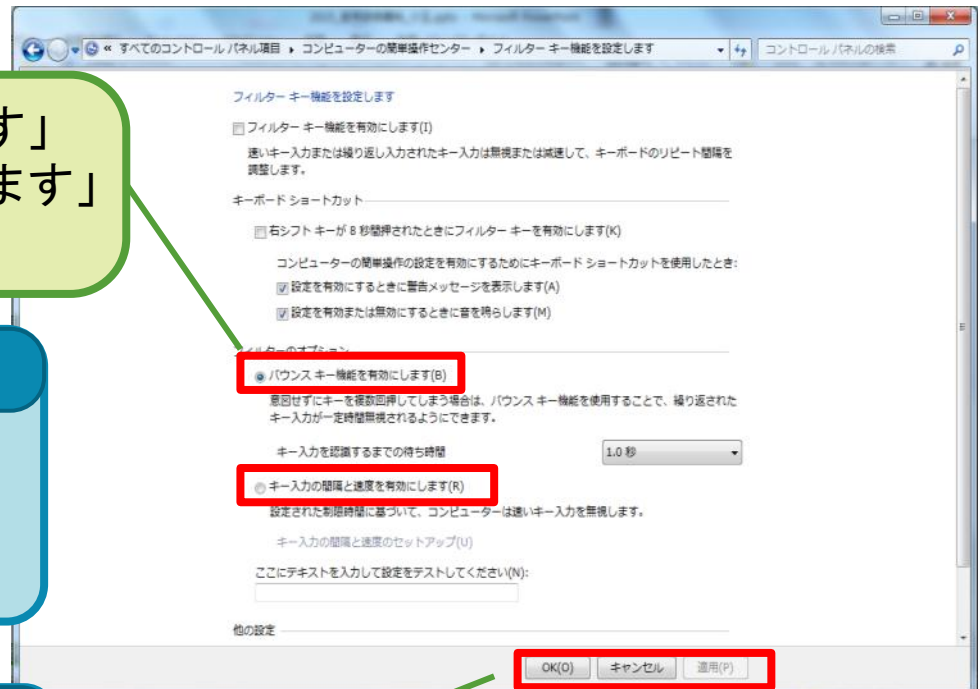
フィルターキー機能のセットアップ

- ④ 「バウンスキー機能を有効にします」
「キー入力の間隔と速度を有効にします」
どちらかを選択する

バウンスキー機能

一つのキーを押した後、設定した
時間内に押されたキーを無効にす
る機能

キー入力の間隔と速度を設定する
キーが押し続けられたときに無効
にする機能



- ⑤ 「OK」もしくは「適応」
を押す

固定キー機能

①

「固定キー機能を有効にする」
にチェックを入れます

固定キー機能

同時に複数のキーを押せないとおきに、一つずつ押しても“押した状態”を保持して、同時入力を可能にする。

②

「固定キー機能のセットアップ」
で詳細を設定します

すべての設定を探索します
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。

- コンピュータを画面なしで使用します
全盲の人向けに最適化します
- コンピュータを見やすくします
ディスプレイを最適化します
- マウスやキーボードを使わずにコンピュータを使用します
代替の入力デバイスをセットアップします
- マウスを使いやすくします
マウスまたはその他のポインティング デバイスの設定を調整します
- キーボードを使いやすくします**
キーボードの設定を調整します
- サウンドのコントロールパネルでテキストまたは画像を使用します
サウンドの設定をセットアップします
- コンピュータの作業に集中しやすくします

キーボードを使いやすくします
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。

マウスをキーボードで操作します

マウス キー機能を有効にする(M)
テンキーを使ってマウス ポインターを画面上で動かします。
マウス キー機能をセットアップします(Y)

入力やすくします

固定キー機能を有効にする(R)

キーボードのショートカット (CTRL+ALT+DEL など) で一つずつキーを押します。
固定キー機能のセットアップ(C)

切り替えキー機能を有効にします(K)
CAPS LOCK、NUM LOCK または SCROLL LOCK を押したときに音を鳴らします。
 NUM LOCK キーを 5 秒間押し続けることで切り替えキーの機能を有効にします(S)

フィルター キー機能を有効にします(I)
速いキー入力または繰り返し入力されたキー入力は無視または減速して、キーボードのリピート間隔を調整します。
フィルター キー機能のセットアップ(L)

ショートカット キーを使いやすくします

ショートカット キーとアクセス キーに下線を表示します(N)

サウンドの管理を簡単に行います

OK(O) キャンセル 適用(P)

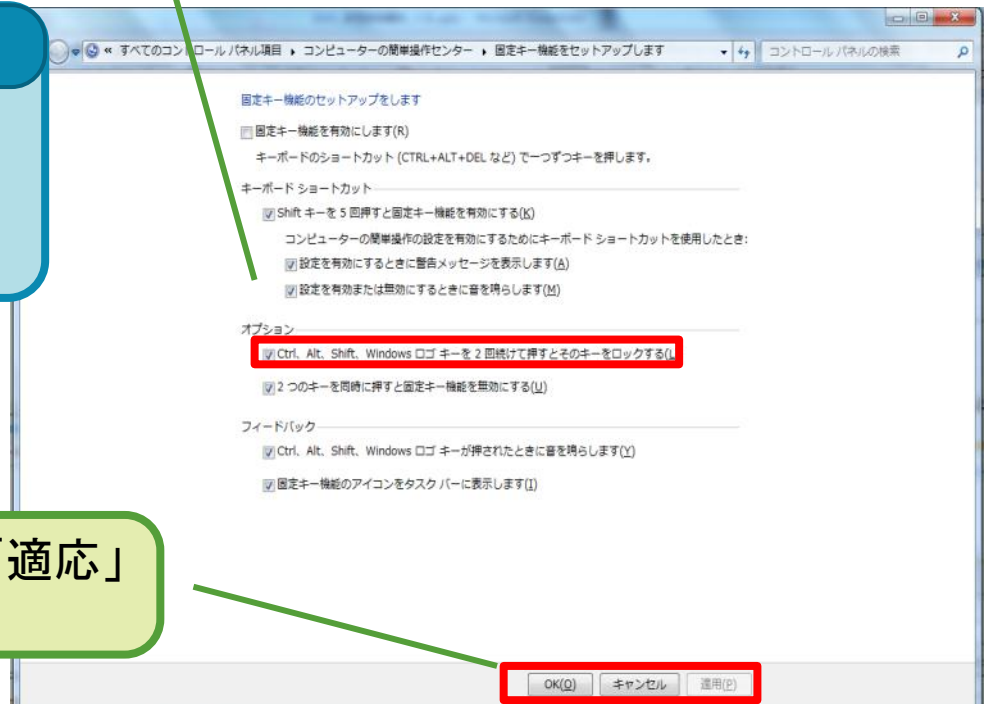
固定キー機能のセットアップ

③ 「Ctrl、Alt、Shift、Windowsキーを2回
続けて押すとそのキーをロックする」

2回押すとロックする機能

同じキーを二回押すことで“押し
た状態”を保持する機能

④ 「OK」もしくは「適応」
を押す



マウスキー機能

①

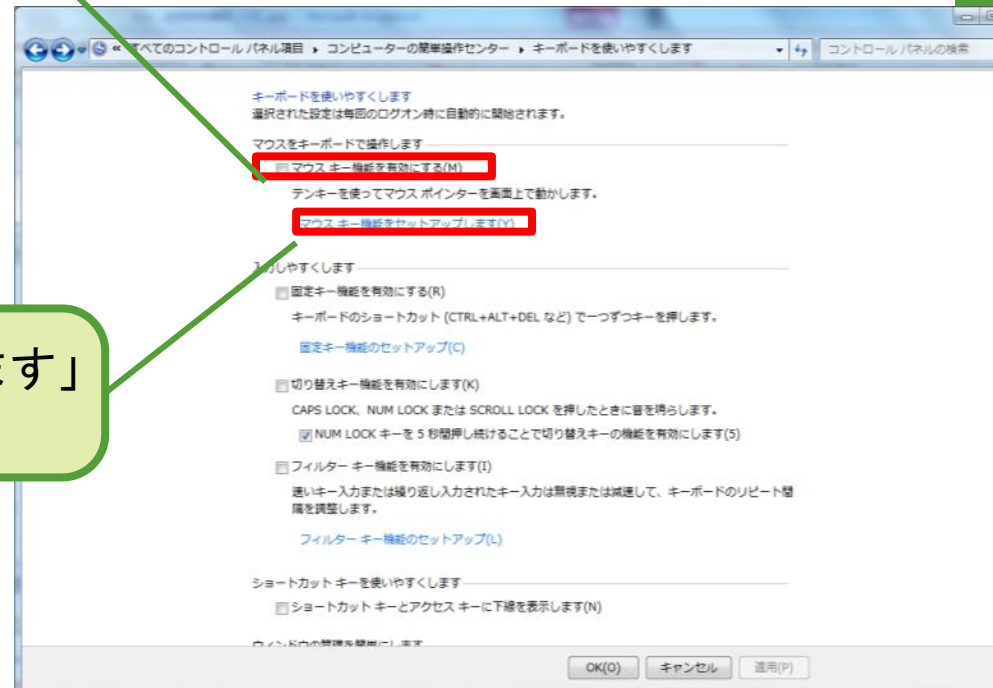
「マウスキー機能を有効にする」
にチェックを入れます

マウスキー機能

画面上のマウスカーソルをテンキー
で動かせるようにする機能

②

「マウスキー機能をセットアップします」
で詳細を設定します

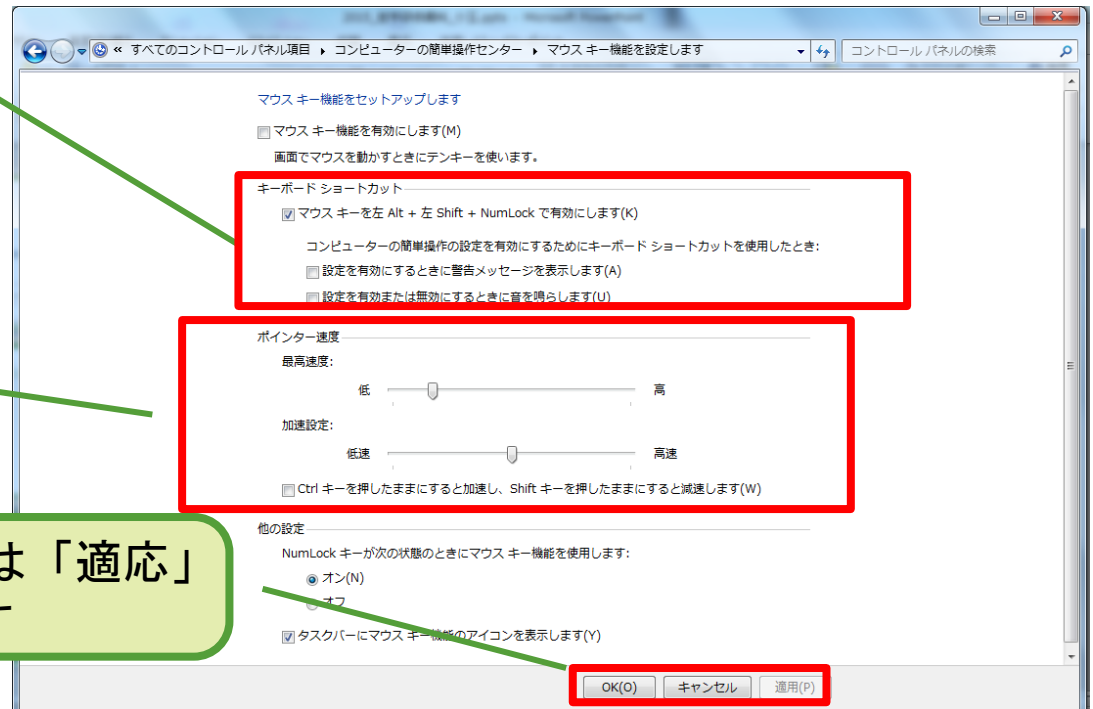


マウスキー機能のセットアップ

③ ショートカットの設定

④ 速度の設定

⑤ 「OK」もしくは「適応」を押す



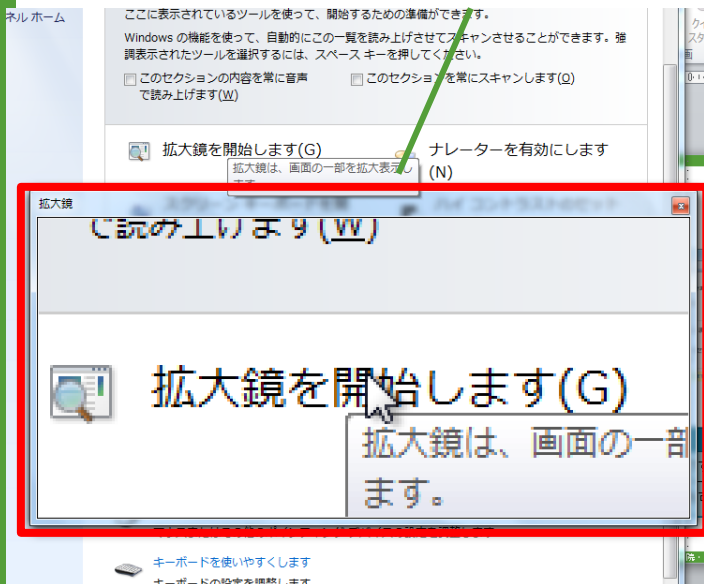
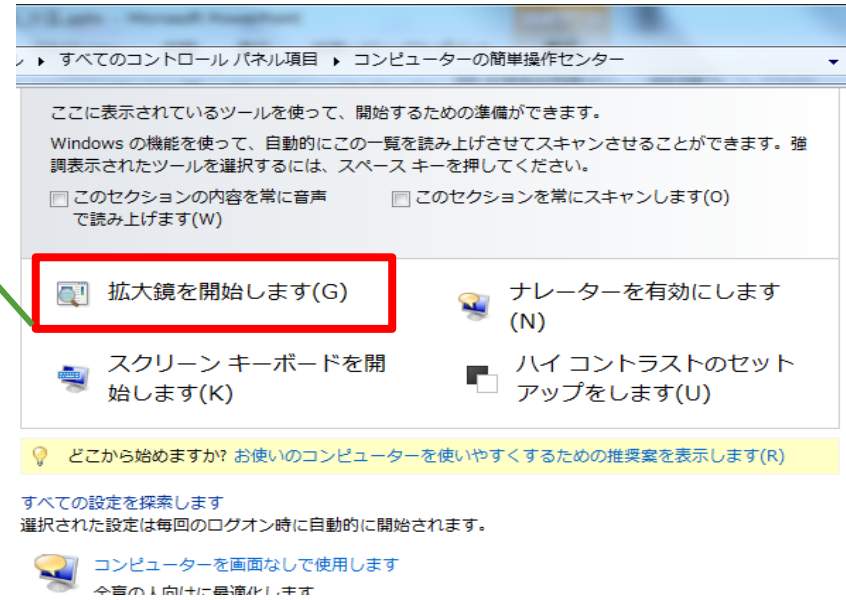
拡大鏡

①

「拡大鏡を開始します」
をクリックします

②

画面上に拡大した表示ウィンドウ
が出現します



拡大鏡

画面上のマウスポインタの位置に表示された文字や画像を拡大して表示します

音声認識

①

「マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します」をクリックする

②

「音声認識を使います」をクリックする

③

音声認識機能の構成を設定します

音声認識機能

文字入力やプログラムの起動、電子メールの送信などを音声で行うことができる機能

すべての設定を探索します
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。

コンピューターを画面なしで使用します
全盲の人向けに最適化します

コンピューターを見やすくします
ディスプレイを最適化します

マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します
代替の入力デバイスをセットアップします

マウスを使いやすくします
マウスまたは他のポインティングデバイスの設定を調整します



マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。

ポインティング デバイスを使用して入力します
 スクリーン キーボードを使用します(K)

マウスまたはジョイスティックなどのポインティング デバイスを使い、キーボードを選択することで入力します。

マウスとキーボードを使用しません

マイクを使って音声でコンピューターの制御、プログラムの起動、およびテキスト

音声認識を使います(U)

音声認識機能の構成

- 音声認識の開始(S)
自分の声を使ってコンピューターの操作を始めます。
- マイクのセットアップ(M)
音声認識が正しく機能するようにコンピューターをセットアップします。
- 音声認識チュートリアルの実施(P)
音声でコンピューターを操作する方法を学習します。基本的なコマンドとディクテーションについて学びます。
- コンピューターをトレーニングして認識精度を上げる(R)
テキストを読み上げて自分の声をコンピューターに学習させ、認識率を高めます。このトレーニングは必須ではありませんが、ディクテーションの精度向上に役立ちます。
- 音声リファレンスカードを開く(C)
一般的なコマンドの一覧を表示して印刷します。印刷した一覧を手元に置いておくと、発声内容を

ナレーター

①

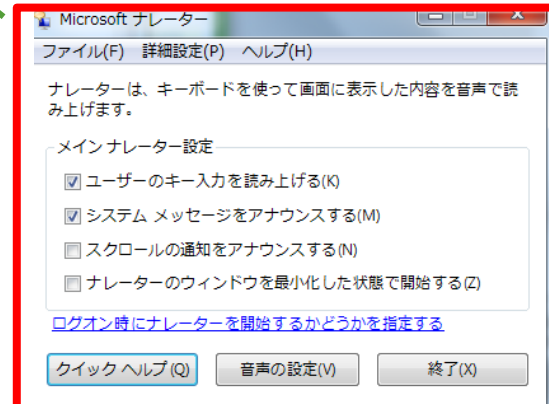
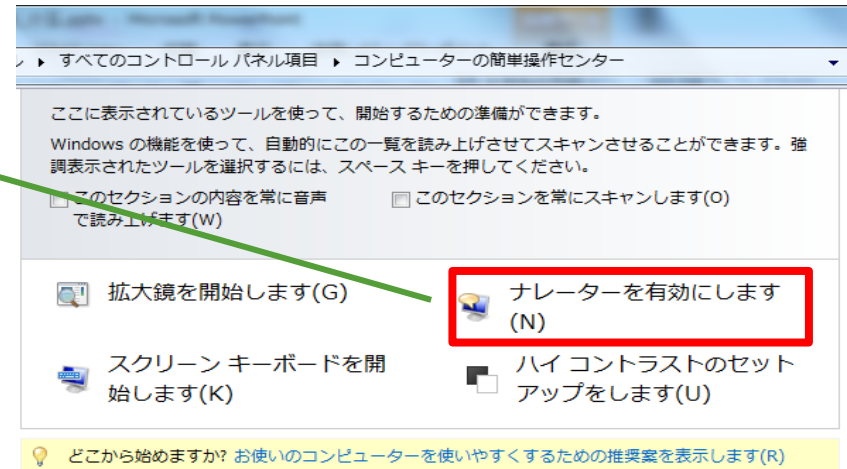
「ナレーターを有効にします」
をクリックします

②

読み上げてほしい項目を選ぶ

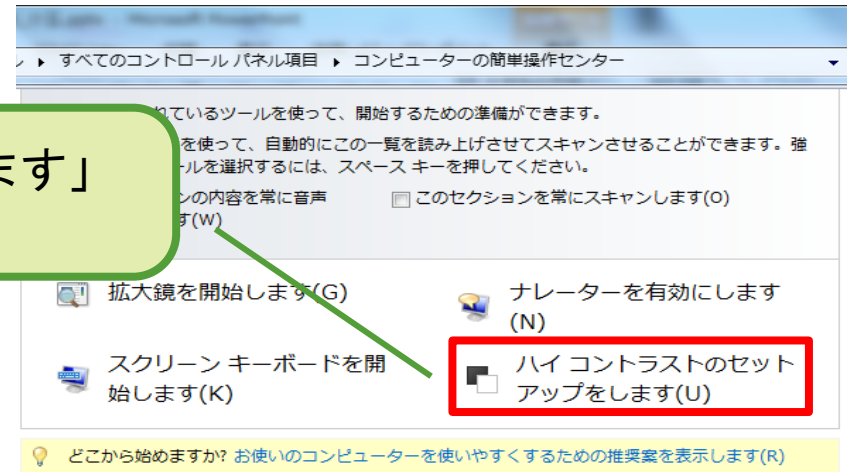
ナレーター機能

入力した文字などを音声で読み上げて
くれる機能

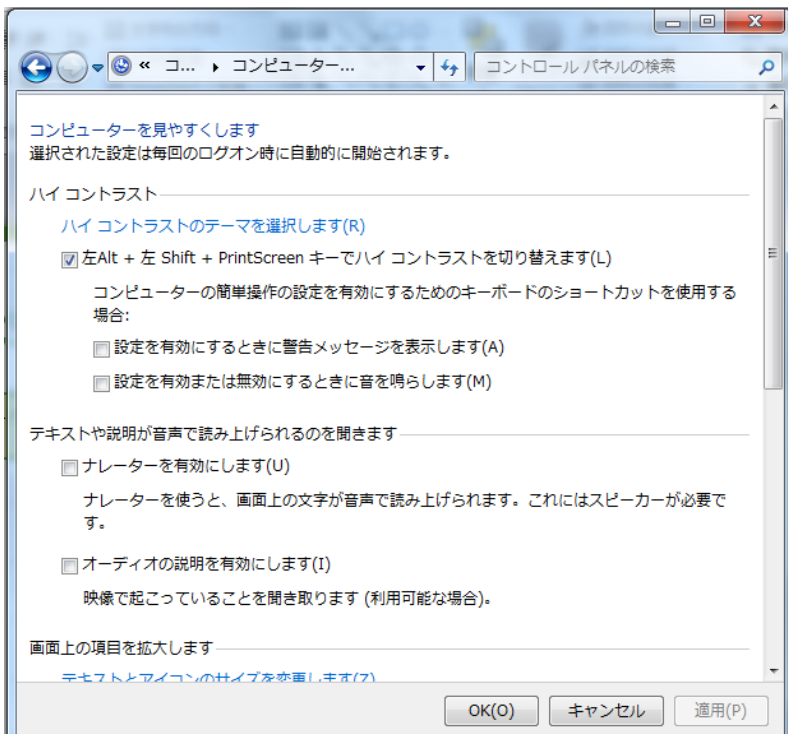


視覚支援（ハイコントラスト）

① 「ハイコントラストのセットアップをします」
をクリックします



② 詳細を設定します



ハイコントラスト

画面の色調を変更して、より見やすいようにコントラストの調整をする機能

WindowsPCの基本的な操作

本日のメニュー

- キーボードですべての操作を行ってみよう
- アクセシビリティの紹介
- 入力支援装置の紹介

マウスの活用

- 通常マウス



- リングマウス



- トラックボールマウス



- 小さいマウス



大きさ、重さ、操作方法など、多種多様！
対象者に合わせた種類の選定が大事！

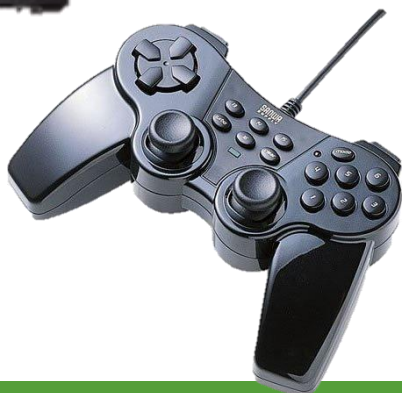
スイッチインターフェースの利用

- できマウス



パソコンにスイッチをつなぎ、スイッチに機能を割り当てることで、パソコンの操作をスイッチで行えるようにすることができる

※ USBコントローラーでも自作できる！



ボタンにハンダを用いてスイッチをつなげられるように自作する

視線入力

- 外付け視線入力装置 トビーPCEye



パソコンにつなぎ、視線をとらえることでパソコンの操作やアプリケーションを視線入力で行うことができます

- センサリーアイFX (Tobii : 140,000円くらい)



環境制御

- なんでもIR
(テクノツール)
23,000円くらい



照明



エアコン



テレビ



DVDプレーヤー



CDステレオ



扇風機

パソコンにつなぎ、複数の家電やAV機器をパソコンで集中コントロールすることができます